



# 尚絅学院大学について

## 1 建学の精神・校名の由来

尚絅学院は、1892年アメリカ合衆国のバプテスト派婦人外国伝道協会から派遣された女性宣教師たちによって、キリスト教教育のための「尚絅女学会」として創設されました。創設者の宣教師たちの思いである、「キリスト教精神に基づく教育によって、自己を深め、他者と共に生きる人間を育てる」を尚絅学院の建学の精神として、これまで守り、継承して来しました。

「尚絅」の校名は中国の古典『中庸』の1節である衣錦尚絅から採られました。それは、金や銀、色鮮やかな糸で織られた美しい着物を着ていたとしても、それを見せて驕るのではなく、その上に質素な麻の打掛をまとい、錦のきらびやかさをつつましく被うという君子の道を説いた言葉です。初代校長アニー・ブゼルはこの校名の由来を聞き、その謙虚な精神はキリスト教においても重要な精神の一つであるとし、それを説いた聖書の箇所、『新約聖書』ペトロの手紙一第3章3～4節を示しました。すなわち「あなたがたの装いは、編んだ髪や金の飾り、あるいは派手な衣服といった外面的なものであってはなりません。むしろそれは、柔和でしとやかな気立てという朽ちないもので飾られた、内面的な人柄であるべきです。このような装いこそ、神の御前でまことに価値があるのです」。建学以来、この校名が示す、「外面ではなく内面を豊かにする」人間を目指すことを、尚絅学院のスクールモットーとしています。



初代校長 ミス・ブゼル  
(1866～1936)

### ミス・ブゼルによって選定された聖句

あなたがたの装いは、  
編んだ髪や金の飾り、  
あるいは派手な衣服といった  
外面的なものであってはなりません。  
むしろそれは、  
柔和でしとやかな気立てという朽ちないもので飾られた、内面的な人柄であるべきです。  
このような装いこそ、神の御前でまことに価値があるのです。  
聖書 ペトロの手紙一 第3章3～4節

## 2 教育理念と目的

尚絅学院は、明治以来130年にわたり、一貫してキリスト教の精神を土台とする人間教育を行ってきた伝統ある学園です。長い歴史の中で、常にその時代その社会に生きる人間のあるべき姿を追求してきました。本学は、尚絅学院の建学の精神をしっかりと受け継ぎ、「キリスト教精神と豊かな教養によって内面をはぐくみ、他者への愛と奉仕の心をもって社会に貢献する人間を育成する」ことを教育理念としています。

本学院の初代校長アニー・ブゼルの教育方針は、「時代を生き抜く力は、単なる物知りでなく、働ける人物即ち自己の生存する時代の要求に応ずることのできる者を養う。」というものであり、これは従来の知識の体系的な修得から、課題(他者)への貢献に焦点を当てた「時代の要求に応える力」を一人ひとりの興味や関心に即して身につけさせるということです。そのため、本学では全国でも数少ない「学群制」を導入し、教員が一つの学系に所属することで、学生の教育のニーズに応じて、必要とされる教育に当たることが可能となり、専門分野の学びに加え、世界や地域の現状に応じた分野横断的な教育・研究が促進されることも期待できます。さらに、大学院では人間に直接関わる問題を「こころ」と「からだ」の健康、さらに「人間の共生」と「公共性」という視点から捉え、健全な人間社会の持続に関わる諸問題を科学的に研究し、実践に活かすことを目的としています。

学生の皆さんには、本格的なパイプオルガンを備えた礼拝堂での礼拝やクリスマスなどのキリスト教関連行事やボランティア活動などにも積極的にに関わり、本学での多彩な経験、他者とのつながりを通して真の人間力に磨きをかけていただくことを期待しています。

### 3 治 革

- 1892年 (明治25年) 米国バプテスト派婦人宣教師ミス・ミードにより「尚綱女学会」開校
- 1896年 (明治29年) エラ・オー・パトリック ホーム 落成
- 1899年 (明治32年) 私立学校令により「私立尚綱女学校」として正式認可をうける (初代校長にミス・ブゼル就任)
- 1948年 (昭和23年) 校名を「尚綱女学院」と改称
- 1950年 (昭和25年) 尚綱女学院短期大学 (家政科・英語科) 開学  
初代学長にミス・ジェッシー就任
- 1952年 (昭和27年) 学長事務取扱に大立目文弥就任
- 1953年 (昭和28年) 第2代学長に松村義敏就任
- 1955年 (昭和30年) 保育科設置
- 1956年 (昭和31年) 尚綱女学院幼稚園設置  
学長事務取扱にミス・マコーイ就任
- 1957年 (昭和32年) 第3代学長に千葉 勇就任
- 1960年 (昭和35年) 第4代学長に吉井正敏就任
- 1963年 (昭和38年) 学長事務取扱に齊藤久吉就任、11月第5代学長に齊藤久吉就任
- 1964年 (昭和39年) 専攻科保育専攻設置
- 1967年 (昭和42年) 荒巻校舎 (英文科設置) 落成
- 1968年 (昭和43年) 保育科荒巻校舎に移転
- 1970年 (昭和45年) 第6代学長に島田正雄就任
- 1977年 (昭和52年) 第7代学長に木村和彦就任
- 1980年 (昭和55年) 学長事務取扱に稲瀬正夫就任
- 1982年 (昭和57年) 第8代学長に稲瀬正夫就任
- 1989年 (平成元年) 短期大学名取キャンパスに統合移転  
人間関係科設置
- 1991年 (平成3年) 第9代学長に小川圭治就任
- 1994年 (平成6年) 専攻科食物栄養専攻設置  
専攻科食物栄養専攻・同保育専攻が学位授与機構より認定
- 1995年 (平成7年) 専攻科生活科学専攻設置、合わせて学位授与機構より認定
- 1997年 (平成9年) 第10代学長に穴戸朗大就任
- 2000年 (平成12年) 短期大学付属幼稚園が名取市ゆりが丘に移転開園
- 2003年 (平成15年) 「学校法人尚綱女学院」を「学校法人尚綱学院」と改称  
尚綱学院大学 (総合人間科学部人間心理学科・健康栄養学科) 開学  
初代大学学長に渡部治雄就任  
第11代女子短期大学部学長に鈴木義元就任
- 2006年 (平成18年) 第12代女子短期大学部学長に渡部治雄就任
- 2007年 (平成19年) 大学院 (総合人間科学研究科心理学専攻・健康栄養科学専攻) 開学  
総合人間科学部表現文化学科・現代社会学科・生活環境学科設置
- 2008年 (平成20年) 第2代大学学長・第13代女子短期大学部学長に佐々木公明就任
- 2009年 (平成21年) 図書館棟・園芸実習棟落成
- 2010年 (平成22年) 総合人間科学部子ども学科設置  
エラ・オー・パトリックホーム名取キャンパスに移設・復元
- 2011年 (平成23年) 女子短期大学部廃止
- 2012年 (平成24年) 礼拝堂落成
- 2014年 (平成26年) 第3代学長に合田隆史就任
- 2015年 (平成27年) 生活環境学科を環境構想学科に改編
- 2016年 (平成28年) 大学院臨床心理実習棟落成
- 2017年 (平成29年) 大学院 (総合人間科学研究科人間学専攻) 設置
- 2019年 (平成31年) 3学群5学類へ再編
- 2020年 (令和2年) 第2体育館「結」落成
- 2022年 (令和4年) 第4代学長に鈴木道子就任
- 2023年 (令和5年) 大学院 (総合人間科学研究科公共社会学専攻) 設置



尚綱最初の校舎、エラ・オー・パトリックホーム  
(1896年築 仙台市青葉区広瀬町)



現在のエラ・オー・パトリックホーム  
(2010年11月広瀬町から移築復元)

## 4 礼拝とキリスト教関連行事

本学では、建学の精神に基づき、キリスト教を土台とした教育を行っています。

講義のなかにキリスト教に関する科目が必修としておかれている他に、教育プログラムの一貫として「礼拝」が行われています。また、年間予定の中に各種のキリスト教関連行事が組み入れられています。

### 1. 礼拝

本学の建学の精神を理解し、その精神を内在化させるために、礼拝出席は伝統的に《価値あるもの》と位置づけられています。礼拝は、本学が使命とするキリスト教の精神に基づく人間形成を、より有効に、より積極的に推進していくためのもっとも中心的な宗教教育プログラムとして行われています。

全学生一人ひとりが、礼拝を通してキリスト教の精神に親しみ、キリスト教的人生観・世界観・倫理観を正しく理解し、自己の品性を磨き、それぞれの人間形成に役立つことを願っています。

礼拝は、通常、毎週月曜日と木曜日の10:30～11:05に礼拝堂において行われ、「礼拝カード」で出欠を確認します。本学では1年次を「キリスト教集中年」と位置づけ、新入生の皆さんがキリスト教の礼拝を体験し、尚絅学院大学の学生としての基礎を身につけていただく期間としています。各自、聖書と讃美歌を持参して主体的に出席してください。音楽礼拝や英語礼拝、特別講師を招いた特別礼拝等のプログラムもあります。また礼拝を配信して行うこともあります。

礼拝は、司会者・奨励者・奏楽者と出席者全員が心を合わせて神の御前に立つ時間です。そこでは学生、教員職員の区別はありません。心を静かに整えて礼拝に臨みましょう。

### 2. キリスト教関連行事

(1) クリスマス礼拝：神の御子、イエス・キリストの降誕をよこび祝うクリスマス礼拝は、12月中旬に行われます。全学をあげて守られる最も大きな行事です。

(2) 卒業礼拝：本学における教育のしめくりとして、社会へ巣立つ学生の内的促しと励ましを願い、礼拝堂で行われます。

### 3. その他の活動

昼休みには「聖書を読む会」、「水曜讃美礼拝」などが行われています。授業後の時間には、ハンドベル・クワイヤや聖歌隊も練習をしています。また学外の施設見学ツアー、カンボジア・スタディーツアーなども計画されます。詳しくは年に数回発行されている宗教部便り「シャローム」をお読みください。



礼拝堂外観

## 5 学群・学類組織図

